

太陽光発電実証研究北杜サイトの 見学会を開催

ACTIVE KUMIAI



発電した電気は、RPS法（「新エネ等電気利用法」）指針に従い電気事業者が買い取る。

協同組合山梨県管設備工業会（望月健二郎理事長）の技術委員会では、4月16日に北杜市長坂町夏秋地内に設置されている「大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究北杜サイト」の見学会を実施した。

この実証研究北杜サイトは、北杜市とNTTフアシリティーズがNEDO技術開発機構（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開

発機構）から委託を受け、2MW（2000KW）級の太陽光発電システムを構築し、系統連系時に電力系統側へ悪影響を及ぼさないシステムの実現を目指し、大規模太陽光発電システムの普及拡大に向けた実証研究を行っているもの。当日は、株式会社NTTフアシリティーズ小尾部長より詳しい説明と解説がされた。

望月健二郎理事長は、「近時急速に発達しつつある太陽光・太陽熱・風力・井水・地中熱などの活用を進めている中で、最も実用化が進んでいるこの研究施設の見学によって、我々が進めている自然エネルギー活用の研究に貴重なヒントを得ることができた。大変有意義な見学会である。」と感想を述べ、今後の組合・業界の新たな事業展開の可能性を示唆した。

組合では、今後も技術委員会が中心となって、研修会や見学会を積極的に開催し、ユーザーの期待に応えられるよう会員企業はもちろん、業界の技術レベルアップと高品質な設備の提供に取り組んでいく。

協同組合山梨県管設備工業会は、「山梨県・全県下を区域とする唯一の管工事業者の協同組合」組織であり、これらの研修会や勉強会への参加希望者は、会員外でも受付可能。

また、組合員の新規加入も随時受け付けており、「技術と経営に優れた企業」を目指して努力している若い経営者の多数の参加・加入を期待している。

●問い合わせ・お申し込みは

TEL055-2226-2175

協同組合山梨県管設備工業会事務局

担当 斉藤まで



およそ10ヘクタールの土地に設置された太陽電池パネル